

講演会・映画観賞会後の交流会

講演会やシンポジウム、映画観賞会などの後に交流会を設けることがあります。内容や気づきをふりかえったり、参加者同士で共有したりするととても貴重な時間です。このごろ、その交流会のファシリテーターをすることが増えてきました。今回は交流会について考えてみます。

☆なぜ、交流会？

講演会やシンポジウムには、必ず質疑応答の時間があります。短く限られた貴重な時間にさっと手を挙げて、「〇〇についてご意見をお聞きしたい」と簡潔に、講師にも会場にいる方々にもわかるように質問するのは、難しいことです。また、こんなことを聞いていいものなのかと気が引けたりもします。もっと時間があつたらなあと思う方は少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか？ そんなモヤモヤを解消するために、もっと聴きたい方のためにも交流会があるとうれしいものです。

さらに、時間を割いて講演会に参加したのに、心に残ったことや気づいたことが、時間と共に忘れられてしまうこともしばしば。講演会等の後に、参加者で共有できる場があると、もやもやも晴れ、気づいたことが長く心に残ります。

☆どんなことするの？

・ もちろん、ワークショップ形式で行っています。社会心理学の祖クルト・レヴィンの実験に、講演会だけで終わる場合とワークショップで共有する場合のその後の行動の違いを調査したものがあります。もちろん、図の中の斜線がワークショップを行った方です。驚くことに2週間後、4週間後と、斜線のほうでは時間が経つにつれて忘れられるどころか、行動に移す人が増えているのです。

- ・ 講演会の内容と目的をお聴きしながら、このワークショップでの「問いかけ」を考えていきます。
- ・ グループでの話し合いを会場全体で共有します。同じ場集った方々が一期一会を大切にさせていただけるよう心がけています。

☆企画してよかった、参加してよかったと思っていただける交流会にしたいと思っています。

